毎月1・11・21日発行

9/21

令和7年(2025)
No.2386

広報しながわ
shinagawa

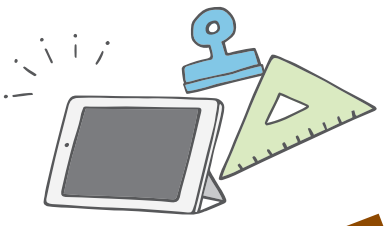
教育特集号

品川区ホームページ

Shinagawa City 品川区

掲載記事は9月10日時点の情報です。

発行／品川区　編集／戦略広報課　〒140－8715 品川区広町2－1－36 ☎3777－1111(代表) Fax5742－6870(戦略広報課) https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/



誰一人取り残さない きめ細やかな教育の実現に向けて

区立学校に通う全ての児童・生徒が
安心して学びを継続できるよう、様々な取り組みを行っています。

特別支援教育の充実

問い合わせ 教育総合支援センター特別支援教育担当(☎5740－8202 Fax3490－2007)

8年4月に伊藤小学校に特別支援学級を開設

伊藤小学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を開設します。宮前小学校に続き、2校目の開設となります。

通常の学級と同じ学習・指導内容を基本としながらも、小集団で情緒の安定・コミュニケーション能力の育成をする授業(自立活動)を行います。

対象 知的な発達に遅れがなく、次のいずれかにあてはまるお子さん
- 自閉症などで他人との意思疎通および対人関係の形成が困難
- 主として選択性かん黙などで社会生活への適応が困難

入学・転学について
- 8年度新たに入学を希望する場合は、10月10日㈮までに就学相談の申し込みをしてください
- 現在在学中で伊藤小学校へ転学を希望する場合は、早めに在学校へご相談ください

※提出期限など詳しくは、在学校へお問い合わせください。

詳しくは区ホームページをご覧ください

発達障害教育支援員の配置拡大

区では、6年度から小学校・義務教育学校（前期課程）全校に発達障害教育支援員を1人配置し、発達障害などがある児童が安心して在籍する学級で教育を受けられるよう支援してきました。

7年度から、学級数の多い学校には発達障害教育支援員を1日最大2人配置し、一人ひとりの子どもの状況に応じた支援を行っています。

不登校対策

問い合わせ 教育総合支援センター不登校・相談担当(☎3490－2011 Fax3490－2007)

フリースクール等利用料助成金制度

品川区電子申請サービス

7年度より、フリースクールなどの利用料の一部を助成する事業を実施しています。

対象 次の全てにあてはまる方
- 7年度に「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金」を受け取った
- 区立学校に在籍している児童・生徒の保護者
- 7年度に東京都以外の自治体から、フリースクールなどの利用料に関する助成金を受け取っていない

助成額 保護者が負担した利用料から都助成金の金額を差し引いた金額(児童・生徒1人につき月あたり上限20,000円)

申請方法 品川区電子申請サービスか必要書類を同センター(〒141－0031西五反田6－5－1)へ**郵送**

※詳しくは区ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

区ホームページはこちらから

「マイスクール」で昼食の無償提供開始のお知らせ

主に心理的要因で不登校になっている児童・生徒が通うマイスクール八潮・西大井で、お昼のお弁当の無償提供を始めました。

子どもの発育を考え、栄養バランスに配慮し、食べやすい大きさに調理しています。

毎日メニューを変え、人気のきなこ揚げパンや焼きそばもあり、子どもたちは様々な料理を楽しんでいます。

小学校低学年用のお弁当

品川区教育振興基本計画「品川区教育ビジョン」を策定しました

日々の学習を通じて、子どもたち自らが「学びの羅針盤」を駆使して進んでいく力、主体性をもって未来を切り拓（ひら）いていく力を育成していきます。

問い合わせ 庶務課庶務係
（☎5742－6823 Fax5742－6890）

ウェルビーイング教育の推進

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念と、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられることも含む包括的な概念のことです。

区では、保護者・教職員・地域の方々と協力しながら、子どもたちが自信を持って未来を切り拓いていけるよう、教育を進めます。

ダイバーシティ＆インクルージョンを実現する教育の推進

全ての子どもたちがそれぞれの違いを認め合い、個々の特性を生かして活躍することができる環境（ダイバーシティ＆インクルージョン）を整え、一人ひとりの能力と可能性を最大限に伸ばすことができる教育を進めます。

また、自分らしさを存分に発揮しながら共生社会を担うことができるよう育成します。

詳しくは区ホームページをご覧ください

品川区版
学びの羅針盤 －2030－

私たちが望む品川の未来（ビジョン）

子どもたち の笑顔 で つながる 共生社会

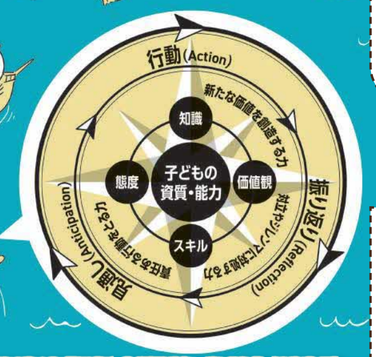
～みんなのウェルビーイングを目指して～

子どもたちが自分らしい幸せな人生を送るために、ウェルビーイングの実現に向けて、自身の航路を自ら選択できるように学ぶことが必要です。

区は、子どもたちが自らの航路を選択できるよう、「品川区版学びの羅針盤2030」を作成しました。

困難な社会を乗り越えるための知識やスキルなどを身に付け、共生社会の担い手となれるよう育みます。

子どもたちが目的意識を持ち、自身の責任を果たしながら、周囲の人々と協力し合い、社会を良くするために学べるよう、子どもの視点や意見を尊重しながら区民との協働により取り組んでいきます。



4つの重点施策で区が目指す教育の未来

「個人と社会のウェルビーイングを実現する力」

自ら目標を決めて学び、責任をもって行動する力（エージェンシー）の発揮

周囲の人々とともに協力し高め合い、社会全体をより良くするために学ぶ

新たな価値を創造する力

責任ある行動をとる力

困難を乗り越える力の育成＝知識、スキル、態度、価値観（コンピテンシー）

対立やジレンマに対処する力

基盤：地域とともにある学校づくり／3校種体制における学校教育の推進／9年間の一貫したカリキュラム

土台：幼児教育と義務教育の円滑な接続

レジリエンス育成の推進

これからの予測困難な社会の中で、子どもたちが自分らしく生きるため、直面した困難に対してたくましく、しなやかに立ち向かい、乗り越える能力（レジリエンス）を育みます。

個別最適で協働的な学びを実現する環境整備

一人ひとりの学習状況や特性に合わせた学びとともに、児童・生徒同士あるいは地域の方々など、学校だけではなく、社会全体と協力して取り組んでいく教育環境をつくります。

ウェルビーイングの理解を深める学習の導入

問い合わせ 教育総合支援センター指導主事（☎5740－8200 Fax3490－2007）

子どもだけではなく、教職員や地域社会を含む多様な個人が、学校との関わりを通じて、それぞれに多様な幸せや生きがいを感じることができるような場づくりが求められています。

区では、「子どもたちの笑顔でつながる共生社会～みんなのウェルビーイングを目指して～」という教育ビジョンのもと、次の通り取り組んでいきます。

- 児童・生徒がウェルビーイングの概念を理解し、ウェルビーイングについて「自分事として気付く」ことからスタートします
- 各学校の特色に応じてウェルビーイングの視点を取り入れた教育活動を通して、児童・生徒が、ウェルビーイングの重要性を感じあうことを重視していきます
- 児童・生徒が周囲と関わる際に、ウェルビーイングを意識した対話や行動の体験を通じて、互いの気持ちを理解したり共有したりしていきます

3年生の市民科学習の様子です。

「命の大切さ」をテーマとして、自分や友達の心臓の鼓動を感じる装置を使用しました。

児童たちは、相手の心臓の鼓動を聞き、自分の命を支えてくれるものへ感謝しながら、一生懸命に生活することの大切さを考えています。

7年生の市民科学習の様子です。

「自分の意思をもつことの大切さ」をテーマに、対話を深めるためのツールとして「希望」「思いやり」「認め合う」などと書かれたウェルビーイングカードを使用しました。

生徒たちは、話し合い活動を通して自己理解を深めるとともに、お互いが気持ちよく生活するためにはどのように周囲の人と関わればよいかを考えています。

○本紙に記載の電話番号は、市外局番（03）を省略しています。

子ども読書活動推進計画（7～11年度）を策定しました

区では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「品川区子ども読書活動推進計画」を策定しています。今年3月に策定した計画の概要をお知らせします。

計画の目的

●すべての子どもたちが、読書や本の活用等を通じて、豊かな感性を育み、実り多き人生を送るための力を身につける

計画の目標

●社会の一層のデジタル化を踏まえ子どもの読書活動を幅広く捉え、図書館・学校・家庭・地域が連携して、豊かな読書体験の機会を創出し、ウェルビーイングにつなげる

ブックマくん＆しおりちゃん

計画について詳しくは区ホームページをご覧ください

本計画の担い手には、「地域」の皆さんも含まれます。子どもたちの読書活動を推進するため、ご協力をお願いします。

問 品川図書館事業担当（☎3471－4667 Fax3740－4014）

83（ハチさん）運動を推進しています

区では、小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時に、日常生活の中で児童を見守る「83運動」を推進しています。皆さんのご協力をお願いします。

問 庶務課庶務係
（☎5742－6824 Fax5742－6890）

学校の校舎改築を進めています

施設の老朽化に加えて、就学人口の増加や学級の少人数化などに対応するため、学校の歴史や特色を生かした計画的な校舎改築に取り組んでいます。

浜川小学校新校舎（7月全工事完了）

学校名	新校舎完成予定	校庭整備完了予定
第四日野小学校	完成済み	8年10月
浜川中学校	8年7月	9年8月
城南第二小学校	9年10月	11年3月
源氏前小学校	11年4月	11年8月
鈴ケ森小学校	11年12月	13年12月
浅間台小学校	設計中	
東海中学校		

※工事期間中は、騒音や振動などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問 庶務課学校施設計画係（☎5742－6833 Fax5742－6890）
庶務課学校施設整備担当（☎5742－6826 Fax5742－6890）

区独自教科の市民科を実施しています

平成18年度から区の独自教科として市民科を実施し、9年間を通じた系統的な指導をしています。

目標

●教養豊かで品格ある人間形成を目指し、社会における規律・規範を重んじ、自己抑制力とそれを支える倫理観・道徳観をもち、自分自身について考え、常に自己変革を図っていく資質と能力を育てる

●社会の一員として自立し、社会に積極的に関わるために、自らの社会的役割を自覚して発信・行動し、社会の発展に貢献しようとする資質と能力を育てる

検討委員会および調査研究会

令和7年度から市民科の改訂に向けて委員会・研究会を立ち上げ、区の教育振興基本計画や国の動向などを踏まえながら、現在の市民科をアップデートしていきます。

検討委員会／学識者、保護者、地域・企業・校長会代表者
調査研究会／区内の教員

内容／年度	7年度	8年度
市民科検討委員会	年4回実施予定 →	
市民科調査研究会	年12回実施予定 →	
	• 調査分析期として、市民科の成果・課題を振り返る	• 要領改訂に向けた検討を行う

問 教育総合支援センター教育施策推進担当
（☎5742－3859 Fax5742－6892）

すまいるスクール

すまいるスクールは、区内在住の児童を対象とした放課後などの居場所です。区立小学校・義務教育学校の施設を活用して37カ所で開設しています。

宿題などに取り組む「学習タイム」、学級や学年を超えて自由に遊びや運動をして過ごす「フリータイム」、地域ボランティアなどが講師となり、将棋やウクレレ、キンボールなどを体験する「教室」を実施し、学びや遊びを通して児童の成長を育みます。

利用日／月～土曜日（祝日、年末年始を除く）
利用時間／学校がある日＝放課後～午後5時、学校が休みの日＝午前8時15分～午後5時
※午後7時まで延長あり。
利用料／午後5時まで＝7年度より無料、午後6時まで＝月3,000円、午後7時まで＝月4,000円

●利用には事前登録が必要です。詳しくは区ホームページをご覧ください。

問 子ども育成課子どもの居場所担当（☎5742－6596 Fax5742－6351）

品川コミュニティ・スクール 学校支援ボランティア養成講座

全4回

児童・生徒の教育活動の充実に向けて、補習教室や読み聞かせなどの学習支援、花壇の整備や掲示物の作成などの環境整備を行っていただくボランティアを養成します。

日 10月30日㈭＊、11月13日㈭、12月18日㈭午後2時～4時
※11～12月に学校でのボランティア体験あり。日程は別途お知らせします。
場 エコルとごし（豊町2－1－30）ほか
人 25人程度（抽選）
＊初回のみ定員60人（抽選）。
申 問 10月16日㈭までに、区ホームページの**申し込みフォーム**か**電話**で、指導課学校地域連携係（☎5742－6595 Fax5742－6892）へ
※内容など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

区ホームページはこちらから

教育委員会SNSの開設

9月1日に、教育委員会のInstagramとFacebookを開設しました。区立学校に関する情報や教育の取り組みに関する情報など、品川の教育について発信していきます。

問 庶務課庶務係
（☎5742－6823 Fax5742－6890）

Instagramはこちらから

Facebookはこちらから